



2020年度「乳の学術連合」学術研究

「食と教育」 学術研究の公募

2019
12/31^火

申請締切日

「牛乳食育研究会」は、一般社団法人「ミルク」と共同して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得や食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みを推進するため、乳を活用した「食と教育」に関する学術研究を公募します。

募集研究テーマ

■ 特定研究テーマ

① 「乳」に係る教育的プログラムの開発と検証研究

キーワード：ヘルスリテラシー向上、食文化の発展、乳特有の教育的価値との関連、新学習指導要領との関連、災害支援と食選択 など

② 「乳」の生産・製造・流通に係る教育的プログラムの開発と検証研究

キーワード：酪農教育ファーム活動、牛乳工場見学と教育活動の連携、牛乳のサプライチェーンを通じた価値や特性 など

③ SDGs達成に求められる資質・能力の考察とそれに係る「乳」の教育的プログラム開発と検証研究

キーワード：豊かな社会づくり、環境配慮、食品ロス削減、地域循環、多様性、国内及びグローバルな食料問題 など

④ 「乳」に関わる学校給食の教育的意義や栄養的・文化的価値に関する研究

キーワード：栄養バランス、社会性の教育、科学的で文化的な食選択、海外(特にアジア)との比較など

■ 一般研究テーマ

⑤ 「乳」に関する教育的視点からの研究

「特定研究」以外のテーマで学校・園(幼・保、小・中・高・大)、家庭、地域、社会、企業などにおける教育の場を活用した歴史、比較、実証研究。

上記テーマへの申請のうち7件程度を採用します。

※全てのテーマは「乳」に係る研究です。

※「乳」とは、「食品としての牛乳乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」を指します。

※「教育」とは、学校教育、家庭教育、社会教育などを指します。

応募資格 国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とします。

委託研究費 年間1件当たり原則として70万円(税込)以内とします。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円(税込)以内とします。

委託研究期間 同一調査・研究課題に対する委託期間は、原則として1年とします。ただし、研究テーマによって複数年の研究が必要な場合は、申請書に全体の研究計画の概要の他、各年の研究計画の概要を明記してください。

選考方法 評価委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

評価委員長 角屋重樹(日本体育大学教育研究科 研究科長)

評価副委員長 木村純子(法政大学経営学部 教授)

委員 石井雅幸(大妻女子大学家政学部児童学科 教授)

木下博義(広島大学大学院教育学研究科 准教授)

(委員は五十音順) 児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科 教授・学科長)

田中博之(早稲田大学教職大学院 教授)

